

## 今週の為替相場見通し(2018年11月19日)

総括表		先週の値動き			今週の予想レンジ
		注	レンジ	終値	
米ドル	(円)		112.65 ~ 114.21	112.82	111.50 ~ 113.80
ユーロ	(ドル)		1.1216 ~ 1.1420	1.1419	1.1300 ~ 1.1550
(1ユーロ=)	(円)		127.50 ~ 129.23	128.86	127.50 ~ 129.50
英ポンド	(ドル)		1.2725 ~ 1.3072	1.2839	1.2750 ~ 1.2950
(1英ポンド=)	(円)	*	144.26 ~ 148.73	144.79	143.50 ~ 146.00
豪ドル	(ドル)		0.7164 ~ 0.7338	0.7333	0.7200 ~ 0.7400
(1豪ドル=)	(円)	*	81.39 ~ 82.90	82.73	81.00 ~ 83.50

(データ)先週の値動きに関して、注の欄で無印の項目はみずほ銀行、\*印の項目はブルームバーグ。

## 1. 米ドル

為替営業第二チーム 藤巻 龍太郎

(1)今週の予想レンジ: 111.50 ~ 113.80 円

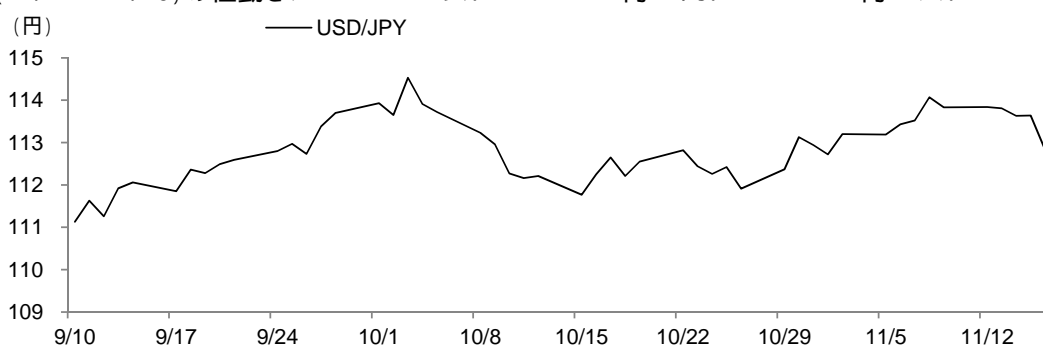
(2)ポイント【先週の回顧と今週の見通し】

先週のドル/円相場は、週後半に下落する展開。週初12日に113円台後半でオープンしたドル/円は、NY市場が休場となる中、中国株が上昇し、下落して始まった日経平均株価も前日比プラス圏まで回復したこと等を材料にドル買い優勢地合いとなり一時週高値となる114.21円をつけた。しかし、欧州株が大きく下げたことから113円台後半まで反落。13日は前日の米株下落を受けて日経平均株価が一時700円超急落したことから113円台半ばまで続落したが、中国副首相が米国と貿易について再び協議を開始するとの報を受けて114円台前半まで反発した。その後はブレグジットを巡る報道に113円台後半を上下する展開。14日は2名の英大臣の辞任が伝わりポンド売りドル買いが優勢となる中で再び114円に乗せる場面も見られたが、英閣僚会議でメイ英首相は支持を得られるとの見方からポンド/ドルが上昇するとドル/円は113円台半ばまで急落。さらに、閣議後にメイ首相は声明を出さないとの報道を手がかりにポンド/円が下落する動きに連れ113円台前半まで続落した。15日は英ラップEU離脱担当相が辞任することが明らかになったことやクロス円の売りが強まる展開に113.10円をつけたがその後反発し引け。16日については、英ポンドの上昇やFRB高官のハト派発言等により、ドル/円は一時週安値となる112.65円まで値を下げ、112円台後半で越週した。

今週のドル/円相場は上値の重い展開を想定。中間選挙を無難に乗り切り、景気も良好であることからドル/円は再度上昇に転じると想定していたが、状況は異なっていた。株が依然としてボラタイルに推移し、金利は短期セクターで調整が見られるなど、リスクオン相場とはほど遠い状況。ドル/円が底堅く見えるのは、ドル以外の通貨に売りが入っているだけで、多くの通貨でショートポジションが溜まる中、いつ買戻しが入ってもおかしくない。リスクは原油が下落する中、インフレ期待が後退するなどして、米の追加利上げ期待が後退することか。一方、米中改善の関係がより進む場合はドル/円の上昇要因かもしれない。注目材料としては、19日(月)にウィリアムズNY連銀総裁の講演、そして20日(火)に10月住宅着工件数が発表される。

(3)先週末までの相場の推移

先週(11/12~11/16)の値動き: 安値 112.65 円 高値 114.21 円 終値 112.82 円



(資料)ブルームバーグ

お客さま各位

ここではレポートの一部をご紹介します。  
しています。

レポート全ページをご希望の方は、  
お取引いただいているみずほ銀行の  
お取扱店、またはお取引担当部まで  
お問い合わせください。

以上